

外国語教育(コミュニケーション能力の育成)に関する課題①

1 外国語教育の早期化・教科化への対応

外国語の授業時数の増加(年間+1995時間)に対して、AETによる授業の割合が減少⇒外国語教育推進から後退

校種	小学校					中学校				年間授業 時数合計	年間授業 時数増減
学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
～平成29(2017) 旧学習指導要領	0	0	35	35	945	140	140	140	4900	5845	—
	0	0	455	490		1540	1680	1680			—
平成30(2018)～ 移行措置期間	15	15	50	50	1770	140	140	140	4900	6670	+825
	210	210	650	700		1540	1680	1680			+14.1%
令和2(2020)～ 小学校新学習指導要領 全面実施	35	35	70	70	2940	140	140	140	4900	7840	+1995
	525	525	910	980		1540	1680	1680			+34.1%

2 英語を使う機会の不足

Practice(練習)の個人学習、Interaction(対話活動)の学校での英語学習に加えて、Communication(実践)の実際の場面で英語を使う機会が少ないため、PICサイクルが機能しない